

平成30年度 大館市立第一中学校 学校評価書(**前期** ・ 年度)

A 学校教育目標

より深く考え自己を磨き未来をたくましく生きる生徒の育成

B 本年度の重点目標

何事も追究し続ける生徒, 互いを思いやるとともに切磋琢磨し合う生徒, 多少の困難を乗り越え努力し続ける生徒の育成

C 学校開発の方針と具体的な取組

<p>(1)全教育活動において追究型学習を行い, 基礎的・汎用的能力の育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・追究型の学習課題に設定 ・将来につながるリフレクション
<p>(2)生徒の実態と心身の発達に即した教育実践に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動, 道徳授業による人間関係・ルールづくり ・生徒との日常的な触れ合いをベースにした生徒指導 ・いじめ・不登校対策委員会を機能させた個別の対策 ・教育相談体制の充実, 生徒支援担当者を中心とした各専門機関との連携
<p>(3)PDCACのサイクルを生かした学校開発に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価や各種アンケート調査を活用した学校開発 ・学校開発への参画意識を高める勤務評価の実施
<p>(4)学習指導要領の趣旨を十分生かした教育課程の編成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学習の推進, 自己有用感の高揚, 思考力・判断力・表現力の育成 ・五大祭を核としたふるさとキャリア教育 ・地域社会との連携, 学校報・HPによる情報の発信

平成30年度前期の主な行事・出来事

- 4月 5日 平成30年度スタート 新任式・始業式 翌6日には169人の新生を迎えて入学式
- 4月14日 PTAスタート 第1回PTA授業参観・PTA総会・学年PTA
- 4月21～22日 大北春季総体(バレー男子・剣道男子・柔道男子が優勝 卓球男子が準優勝)
- 5月 1日 開校記念集会・全校鳳雛講座(講師:大館市教育長 高橋善之 氏)
- 5月 6日 体育祭
- 5月23～25日 3年:修学旅行(東京) 2年:職場体験・宿泊体験学習(秋田市) 1年:大館探訪(市内)
- 6月14日 大北総体激励会 保護者も多数参観 第1回学校評議員会
- 6月16～17日 大北総体
- 6月29日 一中学区小・中連携研究会
- 7月 2日～ 第1回小・中合同あいさつ運動実施
- 7月 7日 県北吹奏楽コンクール 銀賞
- 7月13日 県中学校放送コンテスト(入選:江幡円香, 中村愛果, 巻心優)
- 7月18日 全県総体
 (陸上 女子2・3年1500m3位 武田桜)
 (水泳男子 自由形50m4位・100m4位 虻川響, 自由形400m7位・1500m2位 成田真広, 1500m5位伊藤慎太郎)
 (バタフライ200m4位 根本沙風, 水泳男子400mリレー5位) 以上, 東北大会へ
- 8月11日 大文字踊りに約250人の生徒・職員が参加
- 8月25日 大北駅伝大会(男子3位 女子3位) 大北新人総体水泳大会(男子 総合優勝)
- 8月27日～ 第2回小・中合同あいさつ運動実施
- 9月1～2日 県秋季水泳競技大会
- 9月15～16日 大北新人総体



学級・学年・全校の団結を見せた体育祭

地域の方から学ぶ和服の着付け

地域行事への参加(大文字おどり)

D 評価

ア 生徒の 状況	自己評価Aと外部評価の区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価Bの評価基準	5 実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成 4 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成 3 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成 2 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成 1 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成
----------------	---------------	---	------------	---

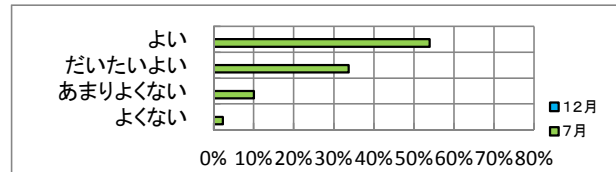
I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感を育もうとしている。	前期 おおむね良好 年度	おおむね良好	挨拶の指導はさまざまな手立てを講じて行っていることが分かった。今後も高い目標に向かって教師、生徒ともに取り組んでほしい。規則正しい生活習慣については、家庭への啓蒙も行ってほしい。
重要自 策と己 学評 校価 のの 改概	【前期(→年度)】〇明るく元気な挨拶については「あいさつマスター」の表彰、部活動ごとの挨拶運動、挨拶強調週間等の取り組みを行っているが、声の大きさや自主的な挨拶などにまだ伸びしろがある。また「時間を守った生活」は、登下校や教室移動などは時間を厳守しているが、メディアを視聴する時間が長かったり、就寝時刻が遅くなったりする傾向が見られるので、家庭への啓蒙をさらに図っていきたい。 【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1)校内外における明るく元気な挨拶 (2)時間やきまりを守った生活	あいさつ運動、学級活動、生徒会活動、教師の率先垂範 生徒会活動、学級活動、規則正しい生活の意識付け	3	
2 集団生活	(3)「共生」を意識した生活	集団活動、集会活動、学級活動、「共生」の意識付け	4	

[1 基本的な生活習慣](調査結果 7月) ※()内は昨年同月調査

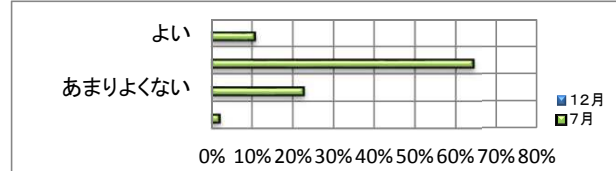
生1 ○あなたは、明るく元気に挨拶していますか。
よい 41%←(39) だいたいよい 49%←(50)
あまりよくない 9%←(9) よくない 1%←(1)



生2 ○あなたは、地域の人に挨拶をしていますか。
よい 54%←(46) だいたいよい 34%←(39)
あまりよくない 10%←(12) よくない 2%←(2)

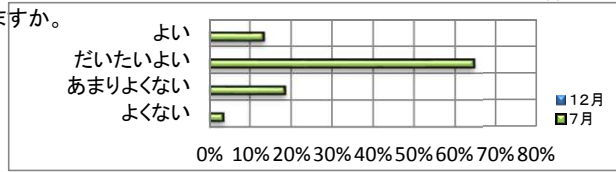
保61 □あなたのお子さんは、明るく元気に挨拶していると思いますか。
そう思う 26%←(23) だいたいそう思う 58%←(57) あまりそう思わない 15%←(18) そう思わない 1%←(2)

保62 □生徒たちが明るく元気に挨拶している学校だと思いませんか。
そう思う 11%←(8) だいたいそう思う 64%←(63) あまりそう思わない 23%←(26) そう思わない 2%←(3)



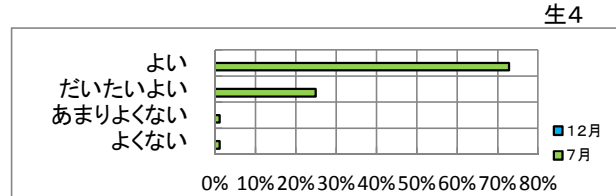
保63 □あなたのお子さんは、規律ある生活習慣を身に付けていると思いますか。
そう思う 13%←(14) だいたいそう思う 65%←(64)
あまりそう思わない 19%←(20) そう思わない 4%←(2)

保64 □生徒たちが時間やきまりを守って生活している学校だと思いませんか。
そう思う 17%←(18) だいたいそう思う 78%←(75)
あまりそう思わない 5%←(6) そう思わない 1%←(1)



[2 集団生活](調査結果 7月) ※()内は昨年同月調査

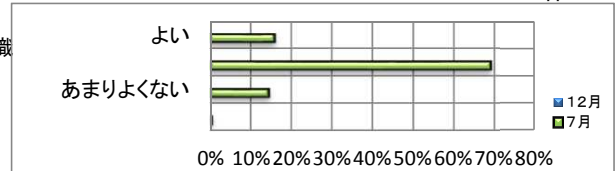
生4 ○あなたは、係活動や当番活動、自分の役割などに、みんなと協力して取り組んでいますか。
よい 73%←(71) だいたいよい 25%←(27)
あまりよくない 1%←(2) よくない 1%←(0)



生5 ○あなたは、清掃に進んで取り組んでいますか。
よい 64%←(63) だいたいよい 33%←(33)
あまりよくない 3%←(3) よくない 1%←(0)

生6 ○あなたは、クラスの友だちと仲良く生活していますか。
よい 80%←(72) だいたいよい 18%←(25)
あまりよくない 2%←(2) 思わない1%←(0)

保65 □生徒たちが「共生」(思いやり、互いに生きる、支え合い)を意識して生活している学校だと思いませんか。
そう思う 16%←(11) だいたいそう思う 69%←(69)
あまりそう思わない 15%←(19) そう思わない 1%←(2)



ア 生徒の状況

II 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り豊かな人間性を育もうとしている。	前期	良好	良好	体育祭や体験学習には多くの生徒がとても意欲的に取り組み、達成感を味わっていたことがよく分かる。今後も生徒理解に努め、一人一人の生徒の居場所のある学校にしてほしい。
	年度			
善要自 策と己 学評 校備 のの 改概	【前期(一年度)】本校の特色の一つである五大祭への取り組みに対する生徒の自己評価の数値は非常に高く、体育祭・体験学習ともにほとんどの生徒が肯定的にとらえている。実際に活動の様子も大変意欲的であり、後期の活動にもつなげていきたいと考えている。○心が和む学校生活についてのアンケートでは生徒、保護者とも約9割が肯定的な回答だった。特に、「先生たちはあなたをよく理解してくれているか」という問いに対する生徒の回答が91%であったことは先生方がアンテナを高くし、生徒理解に努めている結果と受け止めている。			
	【年度(一次年度)】			

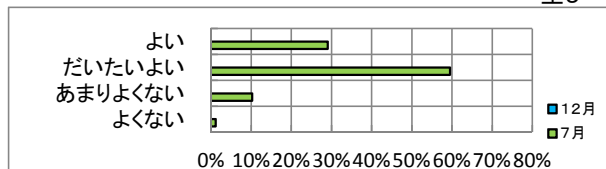
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 豊かな体験活動	(4)仲間と分かち合う五大祭での感動や達成感	見通しのある活動計画、一人一人の支援の充実	4	
	(5)ふるさとキャリア体験での充実感	社会体験の場の充実、振り返り活動の充実		
4 心が和む学校生活	(6)一人一人の居場所がある楽しい学校	教育相談の充実、いじめ調査の実施と活用	4	

【3 豊かな体験】※()内は昨年同月調査
自己評価※五大祭や体験学習でのキャリア体験の充実感 生徒自己評価結果→
回答は◎、○、△、▲の4段階
◎又は○と答えた生徒の割合
()内は、昨年の割合

	役割・協力体験	探求・創造体験	勤労・交流体験	表現体験			達成・感動体験
				身体	合唱	言葉	
体育祭	98%(99)	96%(97)		97%(97)			98%(98)
体験学習	99%(99)	99%(98)	99%(97)				99%(99)
合唱祭							
学校祭							
結晶際							

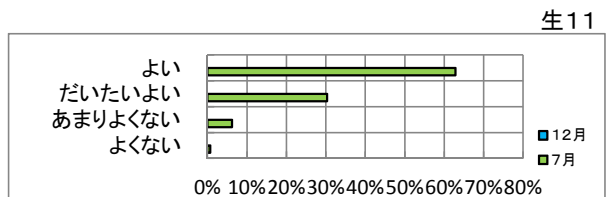
- 生7 ○あなたは、体育祭に楽しく参加することができましたか。
よい 86%←(86) だいたいよい 12%←(12) あまりよくない 1%←(1) よくない 1%←(1)
- 生8 ○体験活動(3年修学旅行、2年職場体験、1年大館探訪)の内容は、他者や社会とかかわる力を高めたと思いますか。
そう思う 76%←(72) だいたいそう思う 22%←(25) あまりそう思わない 2%←(2) そう思わない 1%←(0)
- 保66 □体育祭や各学年の体験学習の内容は十分であったと思いますか。
そう思う 48%←(44) だいたいそう思う 49%←(52) あまりそう思わない 3%←(4) そう思わない 1%←(0)
- 保67 □3年修学旅行、2年校外学習、1年大館探訪等の体験活動は、他者や社会と関わる力を高めたと思いますか。
そう思う 49%←(48) だいたいそう思う 47%←(47) あまりそう思わない 4%←(5) そう思わない 0%←(1)

【4 心が和む学校生活】(調査結果 7月) ※()内は昨年同月調査
生9 ○あなたは、学級や学年、学校がよくなるように考えて行動していますか。
よい 29%←(32) だいたいよい 60%←(55)
あまりよくない 10%←(11) よくない 1%←(1)



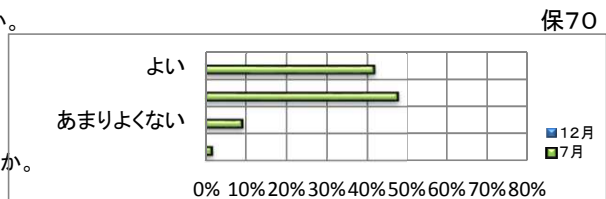
生10 ○あなたは、様々なことに「やる気」をもって挑戦していますか。
よい 48%←(43) だいたいよい 43%←(50)
あまりよくない 8%←(6) よくない 2%←(1)

生11 ○あなたは、学校での生活が楽しいですか。
よい 63%←(53) だいたいよい 30%←(32)
あまりよくない 6%←(7) よくない 1%←(2)



保69 □生徒たちが様々なことに「やる気」をもって取り組んでいる学校だと思いませんか。
そう思う 20%←(13) だいたいそう思う 70%←(74)
あまりそう思わない 11%←(13) そう思わない 1%←(1)

保70 □あなたのお子さんは、学校での生活が楽しいと言っていますか。
そう思う 42%←(31) だいたいそう思う 48%←(53)
あまり思わない 9%←(12) 思わない 2%←(4)



生22 ○先生たちは、あなたのことをよく理解してくれていると思いますか。
そう思う 53%←(52) だいたいそう思う 38%←(42)
あまりそう思わない 8%←(5) 思わない 1%←(1)

保71 □先生たちが、生徒と関わっている学校だと思いませんか。
そう思う 27%←(19) だいたいそう思う 60%←(64)
あまりそう思わない 10%←(15) そう思わない 2%←(2)

ア 生徒の状況

Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	朝食を摂っている生徒の割合が多いが、そうでない生徒の家庭への啓発をお願いしたい。運動する生徒と運動不足の生徒の二極化については、新体力テストの結果を活用して個人の運動量増加に努めてほしい。
	年度		
と自己評価の価値観の概要	【前期(→年度)】〇食に関しては、給食委員会や栄養士による啓蒙活動が活発に行われ好ましい状況である。朝食を食べる生徒も94%と良好だが、そうでない生徒は起床・就寝時間、メディアコントロール等規則正しい生活習慣との相関も懸念される。〇体力方面については、毎日運動をする生徒と保健体育の授業のみという運動不足の生徒の二極化が見られるが、保健体育の時間や昼休みの体育館使用を楽しみにしている生徒は多い。今後送付されてくる新体力テストの結果に注目させ、個人の運動課題解決に向けて意欲を喚起させたい。		
	【年度(→次年度)】		

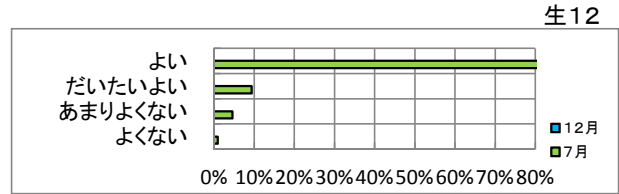
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 食と健康	(7)望ましい食習慣の形成と規則正しい生活	保健委員会・給食委員会による取組, 保健だよりや給食だよりによる啓発	3	
6 体力と気力	(8)継続的な体力づくりの取組	新体力テスト結果を踏まえた授業改善, 昼休みの体育館利用の奨励	3	

〔5 食と健康〕(調査結果 7月)

生12 ○あなたは、毎日朝食を食べていますか。

生徒:(グラフ→)

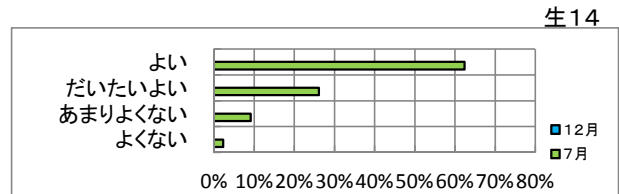
	7月	12月	前年7月
よい	85%		84%
だいたいよい	9%		11%
あまりよくない	5%		4%
よくない	1%		1%



生13 ○あなたは、規則正しい生活が身に付いていると思いますか。

そう思う 32%←(27) だいたいそう思う 47%←(56)

あまりそう思わない 18%←(14) そう思わない 2%←(3)

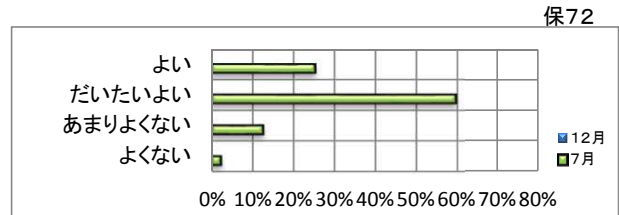


〔6 体力と気力〕 (調査結果 7月) ※()内は昨年同月調査

生14 ○あなたは、体力づくりを意識した取組をしていますか。

よい 63%←(61) だいたいよい 26%←(29)

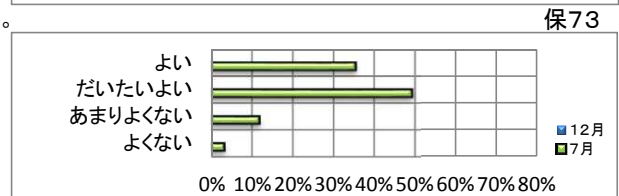
あまりよくない9%←(9) よくない 2%←(1)



保72 □あなたのお子さんは、健康面や体力面に注意して生活していると思いますか。

そう思う 25%←(24) だいたいそう思う 60%←(57)

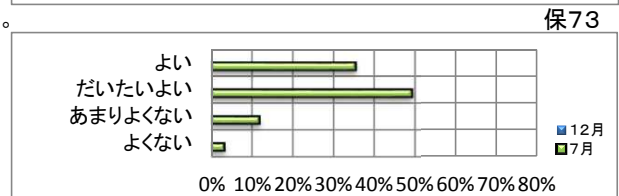
あまりそう思わない 13%←(17) そう思わない 2%←(2)



保73 □先生たちが熱心に部活動を指導している学校だと思いませんか。

そう思う 36%←(31) だいたいそう思う 49%←(52)

あまりそう思わない 12%←(13) そう思わない 3%←(4)



◇新体力テストの各学年男女別得点推移～同一生徒集団の年次毎追跡 ※()内は県平均

	H30	H29	H28		H30	H29	H28
1年男		—	—	1年女		—	—
2年男		36.4	—	2年女		46.7	—
3年男		45.8	34.6	3年女		55.4	47.8

◇運動部加入状況

H28	男	女	全体
生徒	251	212	463
加入者	190	130	320
割合	76%	61%	69%

H29	男	女	全体
生徒	235	196	431
加入者	174	126	300
割合	74%	64%	70%

H30	男	女	全体
生徒			0
加入者			0
割合	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

ア 生徒の状況

IV 基礎学力

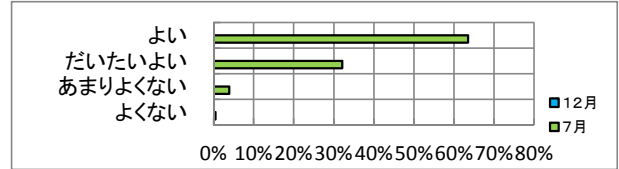
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に授業に臨み基本的学習習慣を形成しながら学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	関わり合いの場の設定などの施策を進め、授業改善を図り、自分の意見を堂々とと言える生徒を育ててほしい。
	年度	おおむね良好	
と自己校評の価の改の善概要策要	【前期(→年度)】○生徒、保護者アンケートともに昨年度同月に比べてプラス面上昇が見られる。しかし、自分の意見や考えを自ら発表することに苦手意識を感じている生徒が多い。関わり合いの場の設定など授業改善を図るとともに、教師側のコーディネートの工夫を図っていききたい。また、諸調査の状況からも、基礎学力の更なる向上を目指したい。一過性の対策ではなく、課題点の分析をもとに、授業への活用、一斉テスト等への活用など、計画的な指導を行っていききたい。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
7 学習への取組	(9)基本的な学習習慣の定着	不断の授業改善, 学習状況カードの活用, 学習強調週間, 教科相談	3	
8 諸検査の状況	(10)NRT, 学習状況調査等の活用	出題傾向の分析と授業への活用, 計画的な回復指導	3	

[7 学習への取組] (調査結果 7月) ※()内は昨年同月調査

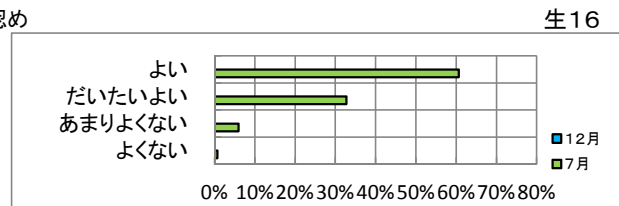
生15 ○あなたは、授業中に先生や他の生徒の話聞く姿勢ができていますか。

よい 64%←(49)
 だいたいよい 32%←(47)
 あまりよくない 4%←(4)
 よくない 1%←(1)



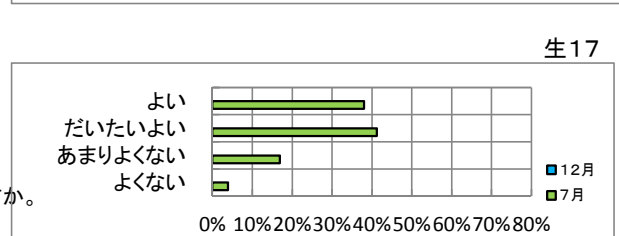
生16 ○あなたは、授業中に他の生徒の発表や発言などをお互いに認め合ったり、わからないところは教え合ったりしていますか。

よい 61%←(51)
 だいたいよい 33%←(41)
 あまりよくない 6%←(8)
 よくない 1%←(0)



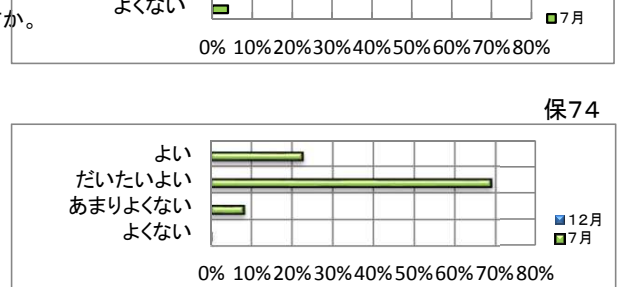
生17 ○あなたは、授業中に自分の意見や考えを発表していますか。

よい 38%←(34)
 だいたいよい 41%←(39)
 あまりよくない 17%←(21)
 よくない 4%←(6)



保74 □生徒たちが一生懸命学習に取り組んでいる学校だと思いますか。

そう思う 23%←(13)
 だいたいそう思う 69%←(73)
 あまりそう思わない 8%←(13)
 そう思わない 1%←(1)



[8 諸調査の状況]

		県教委学習状況調査(県平均を100としたときの指数)					
		国語	社会	数学	理科	英語	合計
現3年	3年次	※平成20年度から中3については実施せず					
	2年次	97.8	90.7	87.9	111.9	96.0	96.8
	1年次	99.8	103.5	97.8	96.0	100.3	99.5
現2年	2年次	-	-	-	-	-	-
	1年次	98.0	101.1	109.3	100.0	95.1	100.6
現1年	1年次	-	-	-	-	-	-

3年全国学力・学習状況調査(4月)の結果
 ※全国, 秋田県, 本校の通過率

	全国	秋田県	本校
国語A	76.1	80.0	80.0
国語B	61.2	66.0	64.0
数学A	66.1	70.0	68.0
数学B	46.9	51.0	50.0
理科	66.1	70.0	71.0
国語の勉強が好き			
数学の勉強が好き	53.9	59.4	48.2
理科の勉強が好き	62.9	77.4	79.9

イ 学校運営 の状況	自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
		良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好	3		目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる	
	やや不十分	2		目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない	
	努力を要する	1		目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い	

V 組織運営

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
教職員が重点目標を意識し主体的かつ組織的に取り組んでいる。	前期	おおむね良好	各指導部から提案されている全校共通実践に重点をおいた取組を強化し、授業改善にもつなげていってほしい。
	年度	おおむね良好	
と自己学校評価の価改の善概要	【前期(一年度)】〇特活・進路指導部で実施した体験活動・講話などに対する生徒の自己評価は高く、昨年度よりも向上している。今後は生徒の進路実現に向けて、進路学習とふるさとキャリア教育との関連を図りながら計画的に取り組んでいきたい。〇研究・学習指導部の共通実践事項の取組については課題が見られる。研究部報や相互授業参観の呼びかけなどを通して、研究の重点に沿った授業改善に取り組んでいきたい。〇生徒指導部に関連したアンケートで先生方と生徒との関わりについては、9割近い肯定的な回答が得られた。今後は月1回のグループ・エンカウンターを計画的に実施していきたい。		
	【年度(一次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 特活・進路指導部の取組	(11)ふるさとキャリア体験の内容の明示と充実	身に付けたい資質・能力・態度の明確化、よりよい人間関係を築く取組(グループエンカウンター等)、3年間を見通した計画的な進路学習	3	
10 研究・学習指導部の取組	(12)共通実践事項を明確にした授業改善の具体的な推進	追究型学習の理解と取組(「一中スタディ」の実践、「話し合い活動の指針」の活用)	3	
	(13)追究型を目指す授業づくり	追究型の学習課題の設定、振り返り活動(リフレクション)の取組		
11 生徒指導部	(14)生徒指導の三機能を生かした積極的な生徒指導の推進	生徒指導部報、定例の情報交換、「報連相」の徹底、積極的な生徒との関わり	3	

〔9 特活・進路指導部の取組〕 (調査結果 7月) ※()は昨年度同月調査

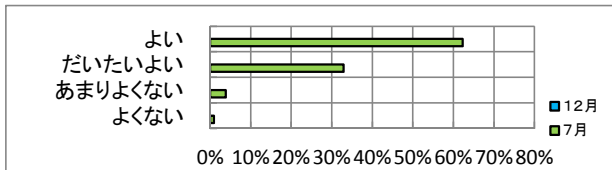
生18 ○これまで実施した体験活動や講話等は、あなたにとってためになるものであったと思いますか。

そう思う 62%←(59) だいたいそう思う 33%←(36) あまりそう思わない 4%←(4) そう思わない 1%←(1)

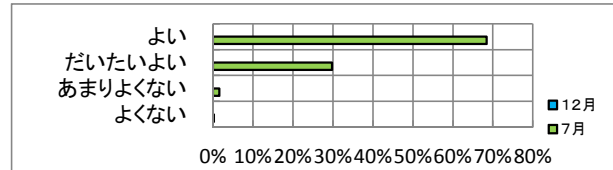
生19 ○学級にとって、活動の振り返りや教室の掲示等は、十分なものであったと思いますか。

そう思う 68%←(66) だいたいそう思う 30%←(29) あまりそう思わない 2%←(3) そう思わない 1%←(0)

生18



生19



〔10 研究・学習指導部の取組〕 (調査結果 7月) ※()は昨年度同月調査

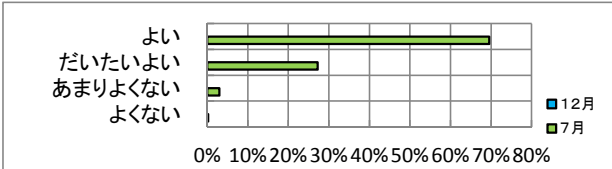
生20 ○先生たちが熱心に授業に取り組んでいる学校だと思いますか。

そう思う 70%←(60) だいたいそう思う 27%←(38) あまりそう思わない3%←(2) そう思わない1%←(0)

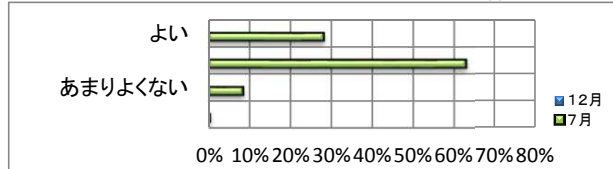
保75 ○先生たちが熱心に授業に取り組んでいる学校だと思いますか。

そう思う 28%←(15) だいたいそう思う 63%←(66) あまりそう思わない9%←(16) そう思わない1%←(2)

生20



保75



〔11 生徒指導部の取組〕 (調査結果 7月) ※()は昨年度同月調査

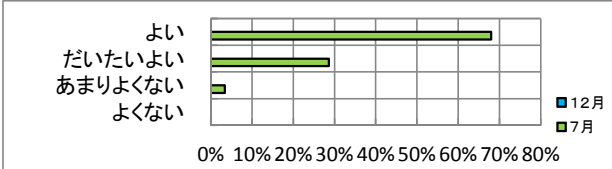
生21 ○先生たちが生徒と関わってくれている学校だと思いますか。

そう思う 68%←(65) だいたいそう思う 29%←(32) あまりそう思わない3%←(2) そう思わない0%←(1)

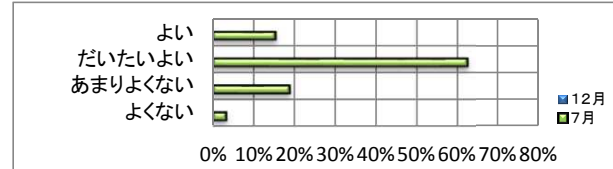
保76 ○先生たちが生徒のことをよく理解している学校だと思いますか。

そう思う 15%←(10) だいたいそう思う 62%←(66) あまりそう思わない19%←(18) そう思わない3%←(3)

生21



保76



イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

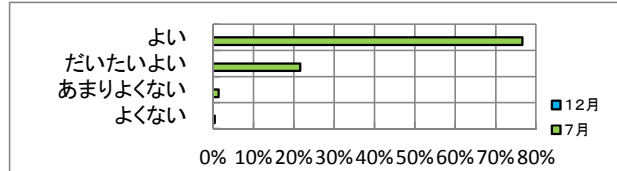
学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校への理解が浸透し保護者や地域の教育力が生かされている。	前期	良好	良好	学校報、学級通信、ホームページなどを通して、学校から十分な情報発信がなされている。地域の教育力を活用した取組に引き続き取り組んでほしい。
	年度			
善要自【前期(→年度)】○学校報や学級・学年通信等による情報発信については生徒、保護者とも9割以上、また地域人材の活用や地域の諸活動への参加については地域代表者全員が肯定的な評価をしており、大変良好な状況であるが、教職員によって取組に若干の差が見られる。そこで、後期は教職員全員が担当教科や校務分掌で地域の教育力を活用した実践を行い、その様子を分かりやすく家庭や地域に伝えていきたい。 策と己 学評 校価 のの 改概				
				【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
12 情報の受発信	(15)学校報や通信等の充実	必要な情報を分かりやすく伝える便り、HPの工夫、校地内掲示板の活用	4	
13 地域の教育力の活用	(16)地域人材を活用した教育活動の推進	各教科等での地域人材の活用、鳳雛講座(地域の職業人講話)の計画的な実施、PTAと連携した活動の実施	4	
	(17)地域の諸活動への積極的な参加	市や地域の行事への参加、ボランティア活動への参加		

[12 情報の受発信] (調査結果 7月) ※()は昨年度同月調査

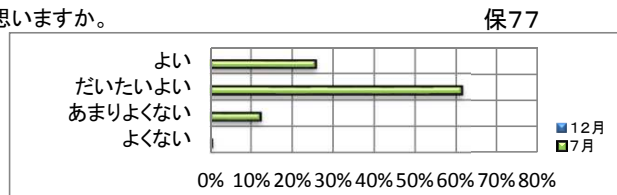
生23 □学校報や学年通信等の内容は十分だと思いますか。

そう思う 77←(70)
 だいたいそう思う 22←(27)
 あまりそう思わない 1←(2)
 そう思わない 1←(1)



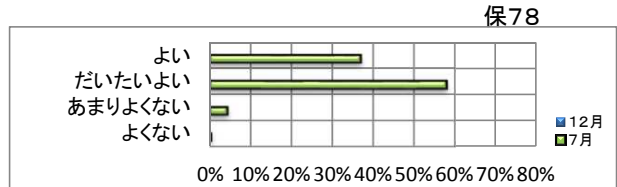
保77 □生徒たちの学校での様子を分かりやすく伝えている学校だと思いますか。

そう思う 26←(20)
 だいたいそう思う 62←(63)
 あまりそう思わない 12←(15)
 そう思わない 1←(3)



保78 □学校報や学年通信等の内容は十分だと思いますか。

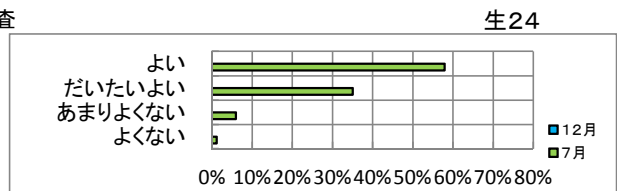
そう思う 37←(31)
 だいたいそう思う 58←(58)
 あまりそう思わない 5←(10)
 そう思わない 1←(1)



[13に関連するデータ] (調査結果 7月) ※()は昨年度同月調査

生24 □あなたは、自分の地域、ふるさが好きですか。

そう思う 58←(53)
 だいたいそう思う 35←(37)
 あまりそう思わない 6←(8)
 そう思わない 1←(1)



平成30年度 学校評価一覽

【前期教職員自己評価】

学校名(大館市立第一中学校)

大館ふるさとキャリア教育(未来大館市民の育成)

学校の重点目標

【教育目標】 より深く考え 自己を磨き 未来をたくましく生きる 生徒の育成

何事も追究し続ける生徒, 互いを思いやるとともに切磋琢磨し合う生徒, 多少の困難を乗り越え努力し続ける生徒の育成

人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	評価項目		自己評価A	学校関係者評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自律的な生活	明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感を育もうとしている。	おおむね良好	おおむね良好	1 基本的な生活習慣	(1) 校内外における明るく元気なあいさつ	あいさつ運動, 学級活動, 生徒会活動, 教師の率先垂範	3
				2 集団生活	(2) 時間やきまりを守った生活 (3) 「共生」を意識した生活	生徒会活動, 学級活動, 規則正しい生活の意識付け 集団活動, 集会活動, 学級活動, 「共生」の意識付け	4	
II 思いやりの心 たくましい心	互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り豊かな人間性を育もうとしている。	良好	良好	3 豊かな体験活動	(4) 仲間と分かち合う五大祭での感動や達成感	見通しのある活動計画, 一人一人の支援の充実	4	
				4 心が和む学校生活	(5) ふるさとキャリア体験での充実感 (6) 一人一人の居場所がある楽しい学校	社会体験の場の充実, 振り返り活動の充実 教育相談の充実, いじめ調査の実施と活用		4
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	5 食と健康	(7) 望ましい食習慣の形成と規則正しい生活	保健委員会・給食委員会による取り組み, 保健だより・給食だよりによる啓発	3	
				6 体力づくり	(8) 継続的な体力づくりの取り組み	新体力テスト結果を踏まえた授業改善, 昼休みの体育館利用の奨励	3	
IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み基本的学習習慣を身に付けながら学力を向上させようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	7 学習への取り組み	(9) 主体的な学習の定着	不断の授業改善, 学習状況カードの活用, 学習強調週間, 教科相談	3	
				8 諸検査の状況	(10) NRT, 学習状況調査等の活用	出題傾向の分析と授業への活用, 計画的な回復指導	3	
V 組織運営	教職員が重点目標を意識し主体的かつ組織的に取り組んでいる。	おおむね良好	おおむね良好	9 特活・進路指導部の取組	(11) ふるさとキャリア体験の内容の明示と充実	身に付けたい資質・能力・態度の明確化, よりよい人間関係を築く取組(グループエンカウンター等), 3年間を見通した計画的な進路学習	3	
				10 研究・学習指導部の取組	(12) 共通実践事項を明確にした授業改善の具体的な推進 (13) 追究型を目指す授業づくり	追究型学習の理解と取組, 「一中スタディ」の実践, 「話し合い活動」の指針の活用 追究型の学習課題の設定, 振り返り活動(リフレクション)の取組	3	
				11 生徒指導部の取組	(14) 生徒指導の三機能を生かした積極的な生徒指導の推進	生徒指導部報, 定例の情報交換, “報連相”の徹底, 積極的な生徒との関わり	3	
VI 保護者・地域との連携	学校への理解が浸透し保護者や地域の教育力が生かされている。	良好	良好	12 情報の受発信	(15) 学校報や各種通信の充実	必要な情報を分かりやすく伝える便り, HPの工夫, 校地内掲示板の活用	4	
				13 地域の教育力の活用	(16) 地域人材を活用した教育活動の推進 (17) 地域の諸活動への積極的な参加	各教科等での地域人材の活用, 鳳雛講座(地域の職業人講話)の計画的な実施, PTAと連携した活動の実施 市や地域の行事への参加, ボランティア活動への参加	4	